

平成 21 年度（社）奈良県臨床衛生検査技師会 第 1 回通常理事会議事録

開催日時：平成 21 年 4 月 9 日（木）午後 6 時 25 分から 8 時 20 分まで

開催場所：奈良県リハビリテーションセンター 討議室

出席者：山本、今田、林田、北川、山下、後藤、倉本、延命、梅木、長谷川、久保
安田、畑中、枡尾、藤本理事

欠席者：宗川、松本、片岡、橋詰理事

I 議事録の確認

1. 「平成 20 年度第 12 回通常理事会議事録」の確認

平成 20 年度第 12 回通常理事会議事録を確認し、誤字・脱字を一部修正し承認した。

II 理事行動報告（平成 21 年 3 月 14 日から平成 21 年 4 月 8 日）

1. 平成 20 年度第 12 回理事会：3 月 14 日（土）／県立医科大学附属病院 中検技局 山本、宗川、今田、林田、山下、倉本、延命、長谷川、橋詰、久保、安田、畑中、藤本、枡尾、片岡
2. 第 50 回近畿医学検査学会第 2 回準備委員会：3 月 14 日（土）／県立医科大学附属病院 中検技局 山本、宗川、今田、林田、山下、倉本、延命、梅木、長谷川、橋詰、久保、安田、畑中、藤本、枡尾、片岡
3. 平成 20 年度一般・新人研修会：3 月 14 日（土）／県立医科大学 一般第 1 講義室 山本、宗川、今田、林田、山下、倉本、延命、梅木、長谷川、橋詰、久保、安田、畑中、藤本、枡尾、片岡
4. 第 2 回総会：3 月 14 日（土）／県立医科大学 一般第 1 講義室 山本、宗川、今田、林田、山下、倉本、延命、梅木、長谷川、橋詰、久保、安田、畑中、藤本、枡尾、片岡
5. HIV 感染予防公開講座会場視察：3 月 18 日（水）／陽気ホール 林田
6. 海外協力委員会：3 月 20 日（金）／独立行政法人国際協力機構（JICA）大阪国際センター 山本、宗川
7. HIV 感染予防公開講座会場予約：3 月 23 日（月）／陽気ホール 梶本氏と接見 林田
8. 第 3 回検査研究部門運営委員会：3 月 26 日（木）／天理よろづ相談所病院 外来棟 5 階中会議室 今田、梅木
9. 日臨技第 2 回総会：3 月 28 日（土）／大森東急イン 5 階フォレストルーム 林田
10. 近臨技予算委員会：4 月 4 日（土）／大阪府臨床検査技師会事務所 倉本
11. 近畿医療フォーラム：4 月 4 日（土）／大阪府病院年金会館 宗川、今田、山下、林田、久保

12. 近臨技会長会議：4月4日（土）／大阪府臨床検査技師会事務所 山本
以上の行動報告を、承認した。

III 役員等派遣報告

1. HIV 感染予防公開講座会場視察：3月18日（水）／陽気ホール 林田
2. 海外協力委員会：3月20日（金）／ 独立行政法人国際協力機構（JICA）大
阪国際センター 山本、宗川
3. HIV 感染予防公開講座会場予約：3月23日（月）／陽気ホール 梶本氏と接
見 林田
4. 日臨技第2回総会：3月28日（土）／大森東急イン 5階フォレストルーム
林田
5. 近臨技予算委員会：4月4日（土）／大阪府臨床検査技師会事務所 倉本
6. 近畿医療フォーラム：4月4日（土）／大阪府病院年金会館 宗川、今田、
山下、林田、久保
7. 近臨技会長会議：4月4日（土）／大阪府臨床検査技師会事務所 山本

以上の役員等派遣報告を、承認した。

IV 会議、委員会等開催報告

1. 第50回近畿医学検査学会第2回準備委員会：3月14日（土）／県立医科大
学附属病院
2. 第3回検査研究部門運営委員会：3月26日（木）／天理よろづ相談所病院 外
来棟5階中会議室

以上の会議、委員会等開催を、承認した。

V 経過報告

事務局総務部

1. 日臨技第2回総会出席表・委任状の回収状況について
日臨技より、第2回総会の出席表・委任状の回収状況について報告依頼があ
り、FAXにて報告した。出席表1枚、委任状398枚であった。
2. 日臨技共催公益目的事業分担金について
日臨技より平成20年度奈臨技公開講演会分として共催公益事業分担金の送金
通知があった。
3. 日臨技平成20年度各種賞受賞者決定について
日臨技より平成受賞者決定の通知（別紙資料）があった。なお、当会からは
前川芳明会員が功労賞を、16名の会員が永年職務精励者表彰を受賞した。
4. 奈臨技理事の異動について

4月1日付けで、宗川副会長が県立奈良病院へ、梅木学術部長が県立三室病院へ異動となった。

5. 奈臨技電子メール施設連絡責任者およびメーリングリストについて
会員への迅速な情報伝達として、H18年より実施している電子メール施設連絡責任者の変更の有無・新規登録を各施設に依頼した。また、会員個人のメーリングリスト参加についても募集を行った。1週間で3名の個人メーリングリスト参加があった。

6. 庶務部会について

1) 3月30日 奈臨技ニュース、精度管理調査報告書・参加証、日臨技・奈臨技会費領収書、奈臨技電子メール施設連絡責任者登録についてのお願いを配付した。

2) 4月7日 奈臨技学会・微生物研究班アンケートを会員施設に送付した。

7. 奈臨技 IT 委員会

1) 新規掲載内容

・3月21日 まほろば 2007年10月 通巻98号 掲載した。

・3月27日 生化学通信講座 第4回解答・解説 掲載した。

・3月31日 奈臨技ニュース 2009年4月 第179号 掲載した。

8. 会員の移動について

〔正会員数〕544名 (平成21年4月3日現在)

会費納入済み507名 未入金者37名 新入会員累計9名

〔変更〕 4名

〔退会〕 1名

〔新入会〕 2名

事務局経理部

1. 平成21年度会費領収書(107名)の追加発行をした。

学術部

1. 第26回奈良県医学検査学会の運営について

標記学会の運営について、検査研究部門運営委員会を開催し別紙資料の要領で実施することとした。

2. 平成21年度精度管理調査事業について

平成21年度精度管理調査事業について、精度管理調査事業委員会を開催し討議した。事業内容、参加条件を別紙資料の内容とした。

地域保健事業部

1. 特になし

渉外部

1. 公開講演会日臨技共催助成金について

日臨技より342,283円の公開講演会共催助成金が、公益事業報告書の負担金申請通り振込があった。領収書の発行については、経理部に依頼した。

組織法規部

1. 特になし

福利厚生部

1. 日臨技リンクス補償について

理事のリンクス加入について、別紙資料の内容とした。

広報部

1. 奈臨技ニュース 2009年4月号 第179号を発行した。

地区担当部

1. 総会役員を別紙資料にて推薦した
2. 中部地区 祝電（天理医学技術学校 入学式）

日臨技第2回定期総会について

1. 平成21年度事業計画と予算について

平成21年度事業計画と予算案の審議があった。それぞれ詳しい説明があり、新公益法人の申請の遅れについては、お詫びと他団体の動きから現在は申請できない状態であるとの説明があった。収益部門については、委託会社の設立を考えている。また、各地臨技への業務委託については国民医療助成金との名称変更とした。地区学会の助成金について、1人あたり400円と増額された。公益事業として世界糖尿病デーにおける生活習慣病の予防啓発、世界検査デーにおける臨床検査の普及啓発活動は日臨技主導で事業を展開する。定額助成（30万円）対象は、ガン征圧・乳がん撲滅年間啓発活動（9-10月）、エイズ・STI予防啓発活動（12月）、生活習慣病予防啓発（2月）の推進であり、STD撲滅キャンペーンについては、中高生を対象とした資料を作り、性教育実施マニュアルとするとの説明があった。臨床検査データ標準化事業は当初の3ケ年が終了したが、データの解析に未だ時間と費用がかかるため、十分な予算を割り当てた。認定におけるMRI検査について、平衡機能検査と合わせて法改正で勝ち取った検査項目でありながら、その後のフォローがないとの意見があった。また、臨床染色体遺伝子検査については受験者1名であり、協力団体が足かせになっている可能性について質問があった。10数名から20-30の質問および意見があったが、ほぼ10億円の予算と事業計画が、議案書通り承認された。

2. 第60回日本医学検査学会開催地について

平成23年に長野県臨床衛生検査技師会が担当し、東京で開催する提案があり、承認された。

近臨技会長会議について

1. 日臨技の公益法人の取得は平成23年度秋を予定している。
2. 第3回アジア医学検査学会への参加協力要請があった。
3. ガン征圧・乳がん撲滅年間啓発活動（9-10月）、エイズ・STI予防啓発活動（12

- 月)、生活習慣病予防啓発（2月）を推進する公益事業の計画要請があった。
4. 平成21年度事業計画を行った。
 5. 心電図の研修を、認定更新を目的に年一回の実施を計画する。

以上の経過報告を、承認した。

VI 会計報告

1. 3月分の収支状況について
3月分の収支について別紙資料にて報告があり、承認した。

VII 議題

事務局

1. 第1回総会議案書について
標記議案書を、別紙資料の通りとする提案があり、承認した。
2. 第1回総会役員について
標記役員を、別紙資料の通りとする提案があり、承認した。

事務局・経理部

1. 平成20年度事業・経理監査について
標記監査を4月22日（水）18時から天理よろづ相談所医学研究所 事務所において実施する提案があり、承認した。なお、三役の出席についても依頼した。

組織法規部担当

1. 公益法人化制度改革について
公益法人化制度改革に伴い諮問委員会を設立したい。諮問委員にOB会員として山中亨、山名正夫、倉本哲央氏を推薦、理事委員として宗川、今田、林田、藤本、栞尾、延命理事、オブザーバーとして山本会長とする提案があり、承認した。なお、委員会は4回程度を予定しており、1回目の委員会は全理事も含めた公益法人についての勉強会を開催する予定とした。

地域保健事業部担当

1. HIV感染予防公開講座について
標記公開講座として別紙資料の内容で「HIV感染から青少年を守る県民講座」を7月4日（土）14時から16時まで 陽気ホールにて開催する提案があり承認した。尚、委員会を設置し、活動する予定である。

学術部

1. 呼吸器勉強会企画書について

標記勉強会を別紙資料の内容で行い、講師委嘱状の発行をお願いする提案があり、承認した。

2. 第26回奈良県医学検査学会について

1) 講師料について

セミナーの講師料、特別講演の講師料について、別紙資料にて提案があり、承認した。

2) 微生物アンケートについて

グラム染色を取り巻く環境と現状としてアンケートを実施する提案が別紙資料にてあり、事後承諾であるが承認した。

3. 精度管理事業について

精度管理調査の参加条件について、委員会にて討議し原則は会員施設としての参加をお願いすることとしたが、公益事業としての位置づけからも参加をオープンとし、参加費に格差を付ける提案があり、承認した。

VIII 会議、委員会等開催の申請について

1. 第1回講演会等企画委員会

日時：4月30日（木） 18時30分から

場所：天理医学研究所 第2研究室

議題：① H20年度の反省

② H21年度の開催概要

③ 会場設定と役割分担について

④ その他

以上の委員会開催の申請を、承認した。

その他、審議事項なし。

平成21年4月9日

社団法人 奈良県臨床衛生検査技師会

議長 今田 周二

議事録署名人 延命 孝也

議事録署名人 枡尾 茂

平成 21 年度・第 2 回通常理事会資料 (2)
第 50 回近畿医学検査準備委員会 第 3 回会議議事録

日時 平成 21 年 4 月 9 日 18:00～18:30

場所：奈良県リハビリテーションセンター 討議室

出席者：山本、宗川、今田、北川、山下、後藤、倉本、延命、梅木、長谷川、
久保、安田、藤本、林田、栴尾、畑中理事

欠席者：橋詰、片岡、松本理事

<確認事項>

1. 学会開催日および会場

- ① 開催日：2010 年 12 月 11 日（土）、12 日（日）
- ② メイン会場：奈良県立文化会館 12 月 10 日 16:00～12 日 21:00
全館借用願いを提出。具体的なプログラムが詰まり次第、部分的に解約
- ③ サブ会場：奈良県中小企業会館 12 月 10 日 13:00～11 日 16:30
特別申請にて契約のため、解約は不可
- ④ 会場に試薬持ち込み（POCT セミナー用）可能かは未確認

2. 実行委員会の各部門責任者および委員が決定

査読委員長：大峠和彦（委員：松下陽子、高部弘司、土屋直道、西川 武、
吉田恵三子、猪田猛久、小泉 章）

プログラム編集委員長：吉田和弘、河野 久

（委員：薮内博史、小林昌弘、辻野秀夫、中村彰宏、
内池敬男(兼)、福塚勝弘、萬砂美都子）

広報委員：山口正吾、内池 敬男

3. 近畿学会の予算

京都府の予算案：19,370,000

兵庫県の決算：収入 19,241,230 支出 17,241,228

（近畿理事会にて高額な学会運営に見直しの意見が出された）

<決定事項>

1. 学会までのタイムスケジュール決定（資料 1）
2. メインテーマおよびポスター挿絵公募の奈臨技ニュース原稿決定（資料 2）
なお、採用案については記念品を進呈することに決定した
3. 下の 2 点を次回準備委員会の議題とし、6 月の近畿理事会に提案予定
 - ① 50 回記念式典の概要（簡単な企画と予算など）：宗川理事に依頼
 - ② 学会 PR 企画（京都学会に必要なスペースなど）：長谷川、安田理事に依頼
4. 京都学会開催時に、学会引き継ぎ会を 1 時間程度行えるよう、事務局に要請することとした

第 26 回日本心電学会学術集会

公開講座のご案内

日常臨床に携わる臨床検査技師・看護師・研修医の方を対象とした
第 26 回日本心電学会学術集会併設の公開講座です

公開講座Ⅰ：ニーズに応える心電図・生理検査をするために

座長： 山科 章（東京医科大学 循環器内科）

演題・演者

1. 不整脈をシンプルに解説して対応する。放置か緊急対応か？薬物かアブレーションか？

田中 喜美夫（株式会社日立製作所水戸総合病院 循環器内科）

2. 電子カルテ化時代に向けた生理検査システムについて（仮）

今西 孝充（神戸大学医学部附属病院 検査部） 他 演者 1 名（予定）

公開講座Ⅲ：特殊心電図法のノウハウ

座長： 平岡 昌和（東京医科歯科大学）

井上 博（富山大学大学院医学薬学研究部 内科学第二）

演題・演者

1. ホルター心電図業務の要点とピットフォール

棟方 伸一（北里大学 臨床検査部）

2. ホルター心電図、家庭用心電図、イベントレコーダーの基本と臨床

加藤 貴雄（日本医科大学 内科学）

3. 致死性不整脈の予知法（TWA、遅延電位、心拍変動などの基本と臨床）

池田 隆徳（杏林大学 第二内科）

会 場： 国立京都国際会館 〒606-0001 京都市左京区宝ヶ池 TEL：075-705-1234 FAX：
075-705-1100

公開講座Ⅰ：E 会場（本館・会議場 1 階 Room D）

公開講座Ⅲ：F 会場（本館・会議場 1 階 Room E）

日 時： 公開講座Ⅰ：平成 21 年 7 月 2 日（木）18:00～20:45（17:45 より入場可）

公開講座Ⅲ：平成 21 年 7 月 4 日（土）14:30～17:30（14:15 より入場可）

申 込： 1) 平成 21 年 5 月 18 日（月）より申込みを受け付けます。

2) 定員：200 名（公開講座Ⅰ）、230 名（公開講座Ⅲ）

3) 受講を希望される講座（公開講座Ⅰ／公開講座Ⅲ）ごとに、
各共催会社の受付へ FAX で直接お申込みください。

申込書は、両社ホームページの案内からもダウンロードできます。

公開講座Ⅰ

FAX：03-5996-8090 TEL：03-5996-8028（日本光電・公開講座係）

<http://www.nihonkohden.co.jp/>

公開講座Ⅲ

FAX：03-5684-1318 TEL：03-5684-8330（フクダ電子・公開講座係）

<http://www.fukuda.co.jp/>

4) 申込みを受け付けた方へは、聴講票をお送りします。

5) 入場は無料（聴講票必要、軽食付）です。

6) 各講座終了時、受講証をお渡しします。

付記： 本公開講座を共催する日本心電学会は日本臨床衛生検査技師会の生涯教育・研修の関連
学会・

団体として登録されています。今回の講座（Ⅰ・Ⅲ）は「専門教科 10 点」相当です。

共催：第 26 回日本心電学会学術集会 日本光電工業株式会社 フクダ電子株式会社

平成 21 年度・第 2 回通常理事会資料 (4)

奈臨技アウトドア同好会 企画書

H21 年 5 月 17 日

福利厚生部 橋詰 千代子

日 時 8 月 2 日 (日)

場 所 赤目四十八滝
赤目四十八滝キャンプ場テント付のため雨天実施

参加者 正会員、賛助会員、会員家族

日 程

集合 (八木駅前) → 赤目四十八滝散策 → 赤目四十八滝キャンプ場バーベキュー
9 : 00 10 : 30 12 : 30
周辺散策 → 対泉閣温泉 → 温泉からバス出発 → 八木駅前バス到着
14 : 30 16 : 00 17 : 30

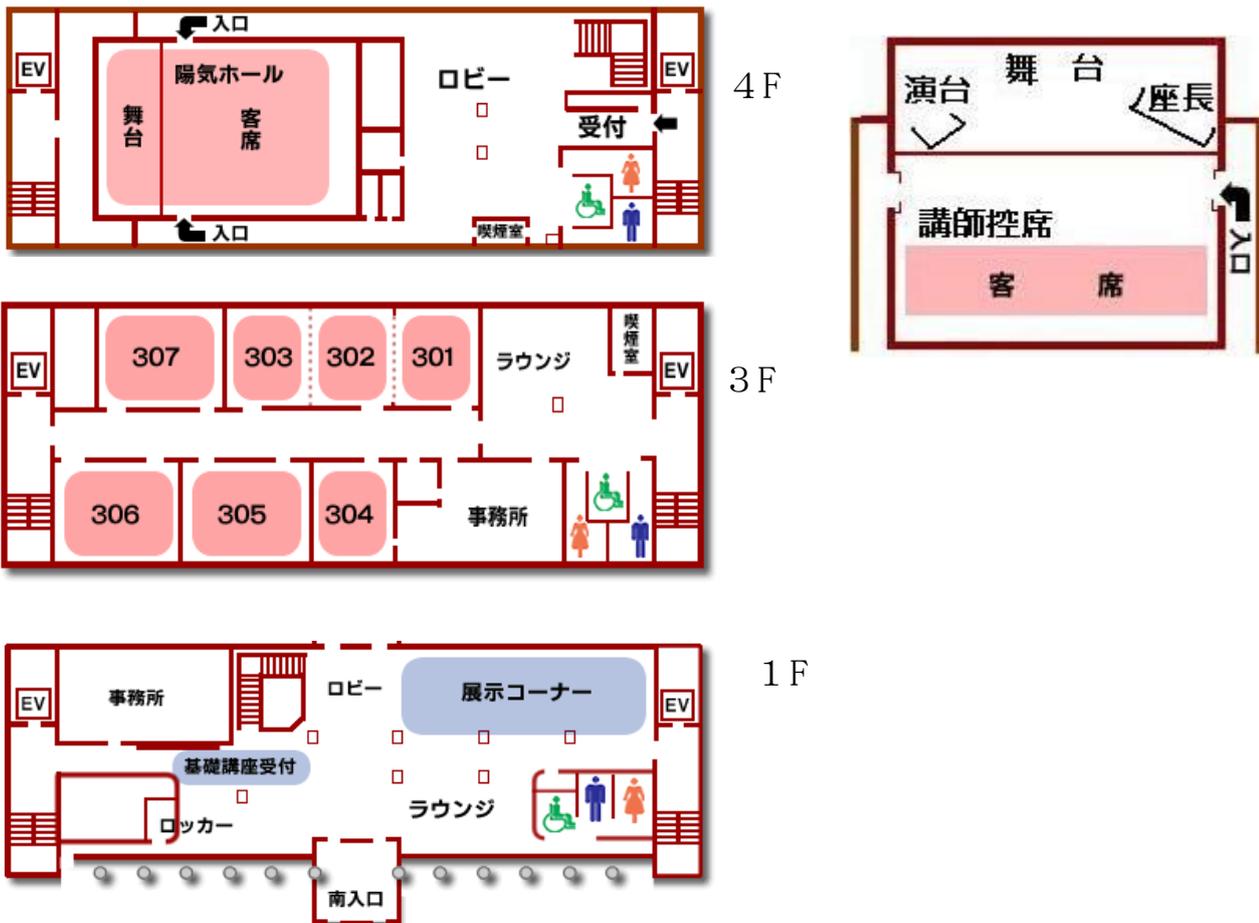
会 費 大人 ¥2, 500 子供 (小学生) ¥1, 500
温泉代は各自負担 (大人 900 円、小人 500 円)

予算計画

項目	単価 (円)	数量	合計 (円)
参加費	2, 500	45 名	112, 500
同好会助成金	100, 000		100, 000
収入合計			212, 500
バーベキュー材料	1, 900	45 名	85, 500
赤目四十八滝入場料	300	45 名	13, 500
キャンプ場入場料	400	45 名	18, 000
バーベキュー棟使用料	3, 000	3 台	9, 000
バス代	80, 000		80, 000
雑費	6, 500		6, 500
支出合計			212, 500

平成 21 年度・第 2 回通常理事会資料 (5)
HIV 予防公開講座会場打合せ報告

出席者： <陽気ホール>梶本教次氏 他 2 名、<奈臨技>安田、林田、大林
会 場： 陽気ホール おやさとやかた南右第 2 棟 天理市守目堂町 252
席 数： 陽気ホール 372 席
その他： 307 号室 (63 席)、講師控室



講演会舞台設営

- ・横断幕、垂れ幕は奈臨技で設営
- ・机：講演者＝演題（舞台向かって左手） 座長＝長机（舞台向かって右手）
- ・椅子：座長 2 脚
- ・マイク：講演者＝有線 1 本 座長＝ワイヤレス 1 本

客席・ホール設営

- ・入り口の看板、案内表示板奈臨技で設営（枚数未定）
- ・講演会ポスターの掲示（会館担当者にて掲示）
- ・フローア質問用ワイヤレスマイク 2 本
- ・ロビーに資料配布用長机 1

宣伝方法（案）

- ・チラシの配布、ポスターの掲示
- ・天理教学校本部 P R
- ・天理教道友社に P R

注意事項

- ・駐車場は会場前に 50 台確保してあるが、講師と来館者用とし、実務委員はその他の駐車場を利用する
- ・講演会開始後はホール右手前の扉を半分開放し出入りする。
- ・基本的に飲食は控え室（307 号室）のみとするが、ロビー内はお茶のみ可能。
- ・喫煙はロビー内の喫煙ルームのみ可能。
- ・携帯電話は電源を切るかマナーモードにする。
- ・講演会終了後は使用した机、椅子は元の位置に戻す。
- ・講演会終了後ホール、ロビー、307 号室、トイレの掃除を行う。（約 20 名）

タイムスケジュール（案）

- ①集合 11:30
- ②昼食【30分】 11:30～
- ③会場設営【1時間30分】 12:00～
- ④技師会紹介DVDの再生【15分】 13:30～
- ⑤講演会 14:00～
 - 1) HIV ウィルスとは AIDS とは 古西満先生 【60分】
 - 2) 保健所による無料検査の実態 四本美和先生 【20分】
 - 3) 福井県技師会による学校性教育の実施について 中丁栄美子先生 【40分】
- ⑥掃除 16:00～



HIV公開講座役割分担表(案)

	人数	責任者					
統括	1名	山本慶和					
統括補佐 (講演会座長)	2名	宗川義嗣	今田周二				
講師接待	2名	山本慶和	畑中徳子				
講演会記録	2名	広報部	広報部				
講演会司会	1名	林田雅彦					
会場受付	4名	北川孝道	白本里美	坂上幸子	微生物研究班		
会場設営	6名	大林準	松谷勇人	柳田裕起	北部地区	中部地区	南部地区
会場誘導・整理 (質疑応答時マイク)	2名	小泉章	中部地区				
調整	1名	安田匡文					

地域保健事業部 安田

第 1 回 講演会等企画委員会・議事概要記録

開催日時：平成 21 年 4 月 30 日 18 時 30 分から 20 時 45 分まで

開催場所：天理医学研究所 7 階第 2 研究室

出席者：林田、大林、長谷川、安田、中村、原田

欠席者：藤本、北川、宗川、高木

オブザーバー出席：なし

1. 前回の研修会の反省点など

①器材の準備不良があった。

ハンズオンセミナーにおいて、手元の映像を映し出すビデオカメラとプロジェクターを接続するコードを忘れ、映像を出すことが出来なかった。

②スタッフの昼食時間が予想に反して長く、一部のメニューについてレストランでの調理時間が長く、かなり待ち時間が発生。

③ポスターの作成が少し送れたことにより、各自治体の広報紙に掲載する事が出来なかった。

④位相差顕微鏡について、盛況であったが今後の実施方法を考える必要もある。自分の血液を見る人については、整理券の発行も必要。

⑤パネルに関しては、これまで通り展示はしたほうが良い。場の雰囲気や会場作りに貢献している。

⑥一般市民（県民）に対する広報は何が最も効果的か再度考える必要あり。

⑦奈良糖尿病協会の看護師の方ともう少し良いコミュニケーションが取れば良いと考える。

2. 講演者について

今回は、大阪大学医学部 船橋先生の教室からではなく、より市民に近い存在である保健師として活躍されています、野口 緑 先生に講演をお願いする事にした。

野口先生のプロフィール

尼崎市役所 保健師 野口 緑 先生

1986 年 尼崎市役所 保健師として入職

2000 年から職員の心血管疾患予防で実績

2006 年から市民健康保険加入者をはじめとする市民の予防活動に取り組む

参考資料

厚生労働省資料・花王ヘルスケアレポート・プラスケアスタイルセミナー

2008 大阪パネリスト

今回参加委員には、野口先生以外にもし推挙する講演者があれば連絡頂くように

した。

3. 会場について・企画について

①会場について

平成 21 年度は奈良市で開催とした。

奈良県文化会館小ホール（300 人）にて開催か、ならまちセンター（300 人）にて開催を検討。結果、奈良県文化会館で行う事とした。

会場は、使いやすさの観点から、国際ホール（1313 人）での開催とした。

②研修会について

平成 21 年度も、併設の勉強会を行いたいという意見があり、実施する事に決定。

研修会の詳細は今後検討してゆく。

学術と連携をとってやってゆくこととした。担当委員として原田委員と北川理事、藤本理事があたることとした。

③各測定体験コーナーも例年通り行う

④展示に付いても行う

⑤現在作成している、メタボリックシンドローム関連の解説書の配布についてもこの講演会でも実施する。

⑥日臨技は、今回も共催を依頼する。⑤の出版物の作成費用については、講演会費用として組み入れる。（事業費として申請）

⑥広報の予算を増やして、多くの方に参加を呼びかける。

4. 各委員の役割分担について

同時開催研修会：北川理事・藤本理事・原田委員

会場準備：大林委員・林田委員・宗川理事

記念品等準備：中村委員・大林委員

広報担当：安田委員・高木委員

講演者・会計：長谷川

平成 21 年度・第 2 回通常理事会資料 (7)

20 近臨技発第 38 号

平成 21 年 5 月 11 日

近畿各府県会長 様
事務局 様
学術部長 様
微生物分野責任者様

近畿臨床検査技師会
会長 瀬田 正憲
(公印省略)

「仏語圏アフリカ臨床検査技術コース」ご協力のお願い

拝啓、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は近臨技事業に対し格段のご理解、ご協力を賜り有難うございます。

さて、平成 18 年度より近臨技国際事業として実施して参りました仏語圏アフリカ臨床検査技術コース事業も本年で 4 年目を迎え、現在、近臨技国際部海外協力委員会を中心に準備を進めているところであります。

本研修コースは、ODA の一環として、仏語圏アフリカ諸国の臨床検査技師を対象に、細菌感染症検査に関する技術、知識について講義や実習等の研修を行い、同諸国の臨床検査分野の人材育成に寄与することを目的としています。

今年度は、8 月 3 日から 10 月 25 日の間、JICA 大阪を中心にさまざまな医療機関や行政機関等で実習や研修を受ける予定となっております。つきましては、貴技師会における細菌検査分野の技師の皆様の協力をお願い致したく、格段のご高配を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具